



令和2年3月6日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

加古川バイパス開通から半世紀

～2020年3月8日に加古川バイパスが開通50周年を迎えます～

2020年3月8日で国道2号加古川バイパスが2車線開通してから50周年を迎えます。
この機会に加古川バイパスが担ってきた役割や整備効果、現状の課題について、知って頂くための様々な取組みを行っていきます。

加古川バイパスは、加古川市周辺の国道2号の交通混雑を緩和し、あわせて播磨臨海工業地帯と京阪神都市圏を結ぶ幹線道路としての役割を担うために整備され、昭和45年3月に全線2車線で開通し、今年で50年目を迎えることとなりました。

この大きな節目を迎えるにあたり、地域の方々をはじめ、関係者の皆様に加古川バイパスが担ってきた役割と整備効果、現状の課題について知って頂くため、以下の取組みを行っていきます。

■主な取組内容

- ①新聞やホームページ、Twitterなどの広報媒体を用いての発信
- ②パネル展示
- ③パトロール車を用いた道路パト体験 等

※詳細な実施内容については、別途お知らせします。

<取扱い> _____

<配布場所> 兵庫県政記者クラブ、加古川市政記者クラブ、明石市政記者クラブ、高砂市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

副所長 おした 尾下 よしはる 嘉春(内線205)

調査課長 まえば 前羽 としはる 利治(内線451)

電話:079-282-8211 (代表)

＜加古川バイパスのあゆみ＞

加古川バイパスは、明石市魚住町清水^{うおずみちょうしみず}（明石西ランプ）を起点とし、高砂市阿弥陀町魚橋^{あみだちやうおはし}（高砂北ランプ）を終点とする延長12.2kmの自動車専用道路です。

国道2号の交通混雑を解消するとともに、播磨臨海工業地帯と京阪神を結ぶ幹線道路として、昭和39年度に工事着手し、昭和45年3月に全線にわたって2車線で開通しました。

その後、昭和49年3月に全線4車線にて開通しました。



工事中的新加古川大橋

開通式の状況



